

コーチング論実習 V

1 単位 (選択) 2 年 (後期)
荒木 秀夫・教授 / 人間文化学科

【授業目的】この授業では、サッカーの技術を理解し、個人技能を高め、集団での技能や戦術を考えて実施できる能力を身につける。さらにこれらの種目に対する指導力を養成することを目的とする。

【授業概要】サッカーに関する知識とスキルの習得【1. 基礎的運動の理論と実践
2. 球技・サッカーの運動としての基礎理論と基礎トレーニング法 3. スポーツにおける運動制御、知覚運動・コーディネーション論に基づいたスキルトレーニングなどの応用】

【キーワード】サッカー、コーディネーショントレーニング、スキルトレーニング

【履修上の注意】この授業では、主にサッカーを中心に実習を行うが、他のスポーツや楽器演奏にも共通する基礎運動の理論と実践をテーマとしている。これまでスポーツを苦手と感じている学生も、積極的に受講することを望む。

【到達目標】運動の発達と学習についての実践的な理論を体験的に学習し、自らが自信の能力向上に応用する資質を得る。

【授業計画】

1. サッカーの個人技能の確認 (ドリブル, リフティング)
2. パスとドリブルとトラップ (パス&ゴール)
3. ボールキープ (パスゲーム)
4. シュートとゴールキーパー
5. 守備の基本とグリッド練習
6. マークの仕方と 4×4
7. オープンスペースの使い方 4×4
8. 三角ポジションと攻守のカバーリング 7×7
9. オーバーラップとセンタリング 7×7
10. コーナーキック・セットプレー 11×11
11. オフサイドラインの守り方攻め方 11×11
12. チームのシステムと攻守の切り替え 11×11
13. チームのシステムとポジションチェンジ 11×11
14. サッカーの評価法
15. まとめ
16. 総括授業

【教科書】適宜, 資料を配布する

【参考書】なし

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218596>

【連絡先】

⇒ 荒木 (3119, 0886567214, araki@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 授業終了後)